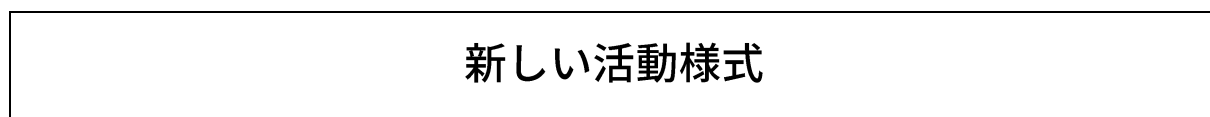
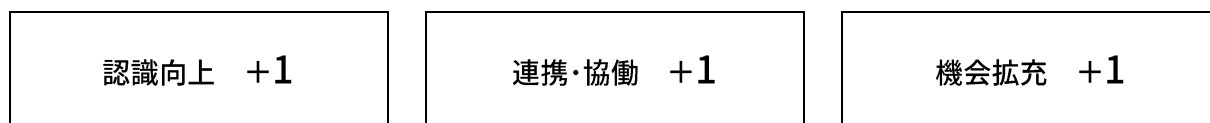
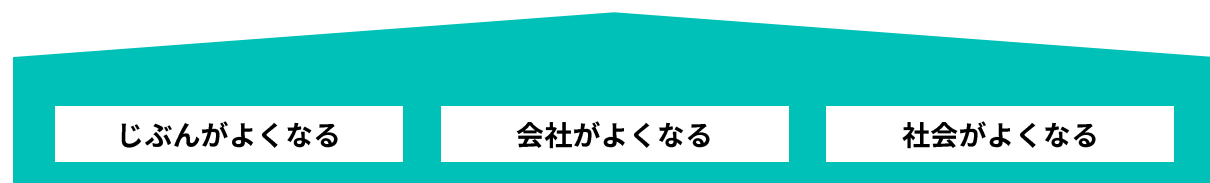
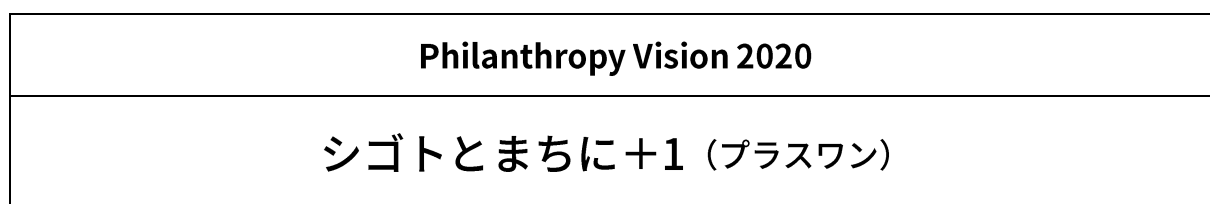
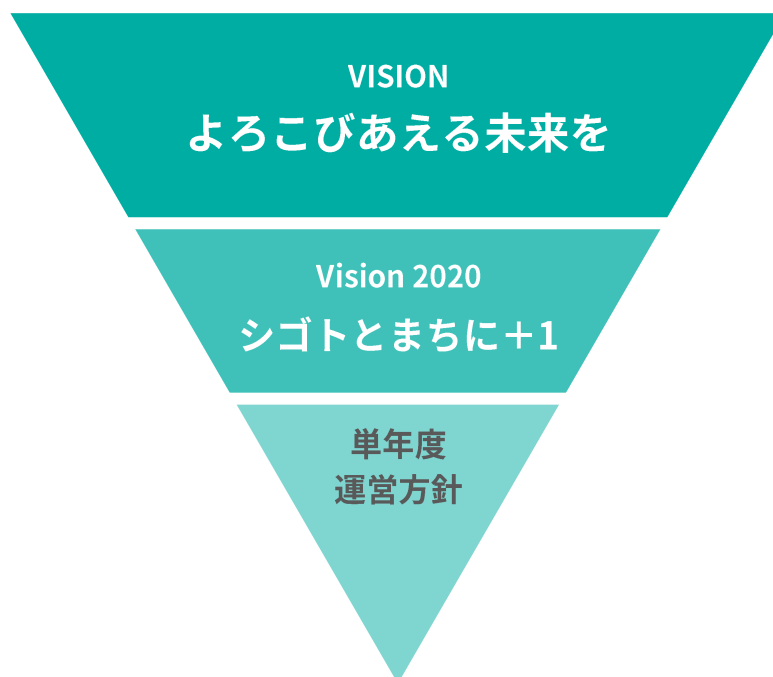


YMCAフィランソロピー協会
中期運営方針
Philanthropy Vision 2020



《2021年度運営方針について》

- ・前年度までは中期運営方針との連動ということで活動を行ってききましたが、3年目となる最終年度は新型コロナウイルスの影響もあり、活動が思うようにできませんでした。
- ・今年度は、見通しのつかない状況のなか3ヵ年計画を考えるのではなく、ビジョン2020を継続しつつ、「新しい活動様式」を加え、新たに「アイデア×チャレンジ」を掲げ、行動計画を策定しました。

2021年度
YMCAフィランソロピー協会
運営方針（案）

YMCAフィランソロピー協会は、熊本における「企業人の社会貢献」の推進を掲げ誕生し、設立25周年を迎えました。

新型コロナウイルスによって、いま社会的な価値観や仕組みは大きく変化しつつあります。人同士の距離をとることが推奨され、これまで手を携え取り組んできた当協会の活動も中断や見直しを迫られています。そのような中でも、ソーシャルディスタンス版「新入社員ボランティア入門講座」やオンライン形式の「おしごとカフェ」など新たな工夫を採り入れながら、社会変化にあわせた新しいフィランソロピー活動が始動しました。

感染症や災害等でさまざまな社会課題が深刻化する中、社会貢献の歩みを止めることなく、さらなる困難に直面する子どもたちや人々のため「よろこびあえる未来」の実現へ向けて進んでまいります。

《基本方針》

- I. ビジョンとミッションを活動の中で具体化し、実践を通して関わる人たちの共感を集めます。
- II. 感染症に配慮しながら、企業間の連携やNPOとの情報交換を深めつつ、地域社会の多様な課題と向き合います。
- III. 「新しい活動様式」の中で、地域で活躍する未来のフィランソロピストを育成していきます。

《行動計画》

新たな「**アイデア × チャレンジ**」で、以下の計画に沿って取り組みます。

- 1 オンラインを併用して「おしごとカフェ」を継続開催し、さらなる企業参加を推進します。
（連携・協働）（機会拡充）
- 2 感染症や災害等によって影響を受ける子どもたちへ社会体験の機会を提供します。
（認識向上）（機会拡充）
- 3 新型コロナウイルスによる中止を踏まえ、チャリティ・交流イベントを再考し、新たな活動につなげます。（連携・協働）（機会拡充）
- 4 オンラインを採り入れながら、企業間の交流や研鑽ができる取り組みを模索します。
（認識向上）（連携・協働）
- 5 新型コロナウイルス感染症が企業の社会貢献活動に及ぼす影響やその対策について調査し、情報発信方法の見直しを進めます。（認識向上）（連携・協働）